

## 聖書箇所:ピリピ人への手紙4章1~9節

### 「平和の神があなたがたとともに」

#### 【1】 同じ「くびき」を負う者として

- ・ ユウオディアとシンティケへの勧め
  - ピリピ教会の指導的立場にある女性たち
  - 何らかの理由で「同じ思い」になれない現実
- ・ 教会が建て上げられていくための必要事項
  - 「同じ思い」(4:2)になること
    - = 同じ方向に向かって歩調を合わせること
  - 「真の協力者」(4:3)の助け
    - = 「ともにくびきを負う者」の助け
- ・ 賜物
  - 同じ主に心を向け、主のために協力して活かす時に力を発揮する



#### 【2】 いつも主にあって喜びなさい

- ・ 私たちから喜びを奪う「思い煩い」：明日を予測する力故
- ・ 「喜び」への招き
  - 自分の予測の中で思い煩うことをやめ祈るように。(パウロ)  
「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。」(4:6)
  - 明日のことまで心配せずに私たちの必要を知る神に祈るように。(イエス)  
(参照マタイ 6:27~28,31~34)
- ・ 与えられている約束  
「そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」(ピリピ 4:7)

#### 【3】 キリスト者として生きるということ

- ・ 「異教世界」に生きるキリスト者への勧め
  - 「すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判の良いことに、また、何か徳とされることや称賛に値することがあれば、そのようなことに心を留めなさい。」(ピリピ 4:8)
  - 学び、受け、聞いて満足することなく、教えられた通り実践するように。
- ・ 私たちは、天を見上げて歩む者であると同時に、地域社会の一員として地に住み誠実に人々に仕える者。

▷神の平安は、心配な出来事や、反対者の存在を忘れることができる静かな場所にもたらされるものではありません。平和の神は、いつも主にあって喜びることを選び取る者たちの切実な祈りを聞いてすべての理解を超えた神の平安を与え、教えられたみことばを自ら実践する者たちとともにいてくださいます。